

つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2016.7~9月期 第19回

【特別調査—金融サービスにおけるIT利活用と中小企業】

津山信用金庫は、作州地域内245企業の経営者のご協力のもと、ここに第19回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況:7月~9月の業況は雨曇、10月~12月の見通しは晴れ時々曇■

【地域別天気図】	2015年 7月~9月	2015年 10月~12月	2016年 1月~3月	2016年 4月~6月	今期実績 7月~9月	来期見通し 10月~12月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2016年7月~9月)の業況判断DIは、前期比5.7ポイント下落し、マイナス7.4となり、調査開始以来2度目の2期連続マイナス水準となった。来期(2016年10月~12月)は、プラス17.2と大幅に改善する見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比10.4ポイント下落しマイナス7.8、真庭地域は前期比6.1ポイント改善しゼロ、美作勝央地域は前期比2.6ポイント下落しマイナス13.9となった。来期は、津山鏡野地域プラス15.0、真庭地域プラス36.8、美作勝央地域プラス2.3と、全ての地域で景況感が改善する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
地域別	DI								
作州地域全体	▲1.7	20.4	51.8	27.8	▲7.4	32.7	51.8	15.5	17.2
津山鏡野地域	2.6	20.3	51.6	28.1	▲7.8	33.3	48.4	18.3	15.0
真庭地域	▲6.1	24.5	51.0	24.5	0.0	42.9	51.0	6.1	36.8
美作勝央地域	▲11.3	16.3	53.5	30.2	▲13.9	18.6	65.1	16.3	2.3

※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

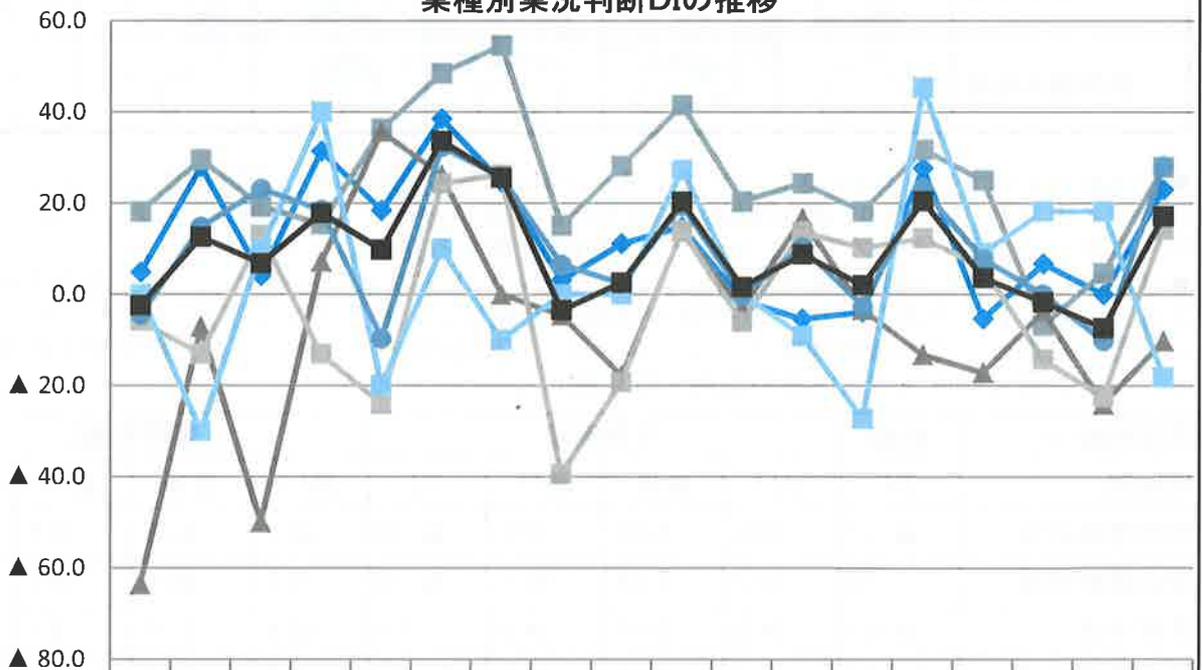
■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上~ 30未満	0以上~ 10未満	▲10以上 ~ 0未満	▲30以上 ~ ▲10未満	▲30未満
天気図						

■全業種総合■

【業種別 天気図】	2015年 7月～9月	2015年 10月～12月	2016年 1月～3月	2016年 4月～6月	今期実績 7月～9月	来期見通し 10月～12月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						

業種別業況判断DIの推移



	12/7月 ～9月	10月～ 12月	13/1月 ～3月	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	14/1月 ～3月	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	15/1月 ～3月	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	16/1月 ～3月	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月 見通し
● 製造業	4.9	28.0	4.1	31.4	18.4	38.5	24.6	3.1	11.1	14.8	▲ 1.4	▲ 5.4	▲ 3.9	27.7	▲ 5.4	6.7	0.0	23.0
■ 建設業	18.2	29.6	19.3	15.4	36.3	48.5	54.6	15.1	28.2	41.5	20.4	24.4	18.2	31.8	25.0	▲ 6.8	4.7	27.9
▲ 卸売業	▲ 63.6	▲ 7.2	▲ 50.0	7.1	35.7	26.1	0.0	▲ 4.6	▲ 17.8	13.8	▲ 3.2	16.7	▲ 3.4	▲ 13.3	▲ 17.2	▲ 3.7	▲ 24.1	▲ 10.3
▲ 小売業	▲ 5.9	▲ 13.1	13.0	▲ 13.1	▲ 24.0	24.3	26.3	▲ 39.4	▲ 19.2	14.0	▲ 6.1	13.7	10.2	12.3	5.8	▲ 14.3	▲ 22.5	14.3
■ 不動産業	0.0	▲ 30.0	10.0	40.0	▲ 20.0	10.0	▲ 10.0	0.0	0.0	27.3	0.0	▲ 9.1	▲ 27.3	45.4	9.1	18.2	18.2	▲ 18.2
■ サービス業	▲ 4.5	14.8	23.1	18.5	▲ 9.7	32.3	25.8	6.5	2.4	19.5	0.0	10.3	▲ 2.6	23.1	7.7	0.0	▲ 10.2	28.2
■ 全業種	▲ 2.4	12.6	6.8	17.8	9.8	33.6	25.6	▲ 3.5	2.6	20.3	1.6	8.8	2.0	20.5	3.6	▲ 1.7	▲ 7.4	17.2

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 1.7	20.4	51.8	27.8	▲ 7.4	32.7	51.8	15.5	17.2
売上	▲ 8.2	25.7	42.0	32.2	▲ 6.5	43.7	43.3	13.1	30.6
収益	▲ 7.7	22.9	43.7	33.5	▲ 10.6	38.8	48.6	12.7	26.1

- 業況判断D Iは、今期(2016年7月～9月)はマイナス7.4となり、前期比5.7ポイント下落した。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス17.2となっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス6.5となり、前期比1.7ポイントと改善した。来期見通しはプラス30.6となっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス10.6となり、前期比2.9ポイント下落した。来期見通しはプラス26.1となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正
資金繰り	▲ 1.2	4.5	86.9	8.6	▲ 4.1	6.1	89.4	4.5	1.6
雇用(人手過不足)	▲ 28.2	4.9	60.4	34.7	▲ 29.8	2.4	64.9	32.7	▲ 30.3
設備投資	▲ 12.4	2.1	84.2	13.7	▲ 11.6	1.7	86.8	11.5	▲ 9.8

- 資金繰り判断D Iは、今期(2016年7月～9月)はマイナス4.1となり、前期比2.9ポイント下落した。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス1.6となっている。
- 人手過不足判断D Iは、今期はマイナス29.8となり、前期比1.6ポイント下落した。来期見通しはマイナス30.3となっている。農林業、医療福祉、住宅建設では、不足傾向と回答のあった企業数が半数以上となっている。
- 設備投資D Iは、今期はマイナス11.6となり、前期比0.8ポイント改善した。来期見通しもマイナス9.8となっている。製造業がマイナス21.6、サービス業がマイナス15.4で全業種平均を下回っている。

■ 製造業 ■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	6.7	27.0	45.9	27.0	0.0	36.5	50.0	13.5	23.0
売上	6.7	29.7	43.2	27.0	2.7	54.1	36.5	9.5	44.6
収益	4.0	24.3	50.0	25.7	▲ 1.4	41.9	47.3	10.8	31.1

- 製造業の業況判断D Iは、今期(2016年7月～9月)は前期比6.7ポイント下落し、ゼロとなった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス23.0となっている。
- 売上判断D Iは、今期はプラス2.7、来期見通しはプラス44.6となっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス1.4、来期見通しはプラス31.1となっている。
- 製造業の内、その他製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業を除いたもの)の業況判断D Iは、今期はマイナス5.2、来期見通しはプラス13.2となっている。
- 今期は、公共工事等の減少で生コン関連の製造業者からは、業況感が悪いとの回答が複数あった。

製造業のうち: 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 7.7	44.4	33.3	22.2	22.2	23.1	76.9	0.0	23.1
売上	7.7	38.5	38.5	23.1	15.4	53.8	38.5	7.7	46.1
収益	7.7	38.5	38.5	23.1	15.4	46.2	38.5	15.4	30.8

- 金属製品製造業の業況判断DIは、2期連続マイナスとなっていたが、今期(2016年7月～9月)は前期比29.9と大幅に改善し、プラス22.2となった。来期(2016年10月～12月)見通しは、悪いと予想する企業はなく、プラス23.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス15.4、来期見通しはプラス46.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス15.4、来期見通しはプラス30.8となっている。
- 介護用や電気自動車関連の部品加工が増加しているとの声があった。

製造業のうち: 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 38.5	60.0	20.0	20.0	40.0	41.7	41.7	16.7	25.0
売上	▲ 7.7	41.7	50.0	8.3	33.4	58.3	33.3	8.3	50.0
収益	▲ 15.4	25.0	66.7	8.3	16.7	50.0	41.7	8.3	41.7

- 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期比78.5ポイントと大幅に改善し、プラス40.0となった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス25.0となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス33.4、来期見通しはプラス50.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス16.7、来期見通しはプラス41.7となっている。
- 消費増税の延期とマイナス金利による住宅ローン金利の低下により住宅着工件数が前年比を上回っている。また、売上が増加しているとの回答も多くなっており景況感が大幅に改善した。

製造業のうち: 農林業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	36.3	28.6	42.9	28.6	0.0	63.6	27.3	9.1	54.5
売上	36.3	27.3	27.3	45.5	▲ 18.2	63.6	27.3	9.1	54.5
収益	18.1	18.2	54.5	27.3	▲ 9.1	45.5	45.5	9.1	36.4

- 農林業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期比36.3ポイントと大幅に下落し、ゼロとなった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス54.5となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス18.2、来期見通しはプラス54.5となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス9.1、来期見通しはプラス36.4となっている。
- 来期は、収穫期を迎えることや全国的に台風による農産物の収穫減が懸念されており、米価をはじめ農産物価格の上昇が見込まれることから業況感が改善する見込みとなっている。

■建設業■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 6.8	23.3	58.1	18.6	4.7	39.5	48.8	11.6	27.9
売上	▲ 15.9	30.2	48.8	20.9	9.3	32.6	55.8	11.6	21.0
収益	▲ 22.7	25.6	53.5	20.9	4.7	34.9	60.5	4.7	30.2

- 建設業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期比11.5ポイント改善し、プラス4.7となった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス27.9となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス9.3、来期見通しはプラス21.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス4.7、来期見通しはプラス30.2となっている。
- 住宅建設を除いた建設業の業況判断DIは、今期はプラス7.2、来期見通しはプラス22.2となっている。
- 公共工事の減少により業況感が悪化しているが、来期は改善見通しの企業が多くなっている。

建設業のうち: 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 25.0	0.0	77.8	22.2	▲ 22.2	50.0	37.5	12.5	37.5
売上	▲ 12.5	31.3	37.5	31.3	0.0	31.3	62.5	6.3	25.0
収益	▲ 25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	31.3	68.8	0.0	31.3

●住宅建設業者の業況判断D Iは、今期(2016年7月～9月)は前期比2.8ポイント改善し、マイナス22.2となった。来期(2016年10月～12月)の見通しはプラス37.5となっている。

●売上判断D Iは、今期はゼロ、来期見通しはプラス25.0となっている。

●収益判断D Iは、今期はゼロ、来期見通しはプラス31.3となっている。

●今期は前期に引き続き景況感は悪いが、マイナス金利政策による住宅ローン金利の低下等で今期の受注残D Iが大幅に改善しているため、来期の景況感も大幅に改善する見通しとなっている。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 3.7	13.8	48.3	37.9	▲ 24.1	13.8	62.1	24.1	▲ 10.3
売上	0.0	37.9	20.7	41.4	▲ 3.5	27.6	48.3	24.1	3.5
収益	7.4	27.6	31.0	41.4	▲ 13.8	24.1	51.7	24.1	0.0

●卸売業の業況判断D Iは、今期(2016年7月～9月)は前期比20.4ポイント下落し、マイナス24.1となった。来期(2016年10月～12月)見通しはマイナス10.3となっている。

●売上判断D Iは、今期はマイナス3.5、来期見通しはプラス3.5となっている。

●収益判断D Iは、今期はマイナス13.8、来期見通しはゼロとなっている。

●猛暑の影響で飲料の売上が伸びたとの声があったが、水温上昇等により生鮮品の質量ともに低下し価格が上昇しているとの声や林業・建築設備品取扱業者からも景況感が悪いとの声があった。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 14.3	16.3	44.9	38.8	▲ 22.5	30.6	53.1	16.3	14.3
売上	▲ 32.7	18.4	42.9	38.8	▲ 20.4	44.9	40.8	14.3	30.6
収益	▲ 24.5	18.4	36.7	44.9	▲ 26.5	40.8	42.9	16.3	24.5

●小売業の業況判断D Iは、今期(2016年7月～9月)は前期比8.2ポイント下落し、マイナス22.5となった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス14.3となっている。

●売上判断D Iは、今期はマイナス20.4、来期見通しはプラス30.6となっている。

●収益判断D Iは、今期はマイナス26.5、来期見通しはプラス24.5となっている。

●猛暑やオリンピックによる外出控えと、休日の増加(山の日)により遠方への外出増加により地域での消費が減少しているとの声が複数聞かれた。

小売業のうち: 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず
業況	▲ 28.6	11.1	44.4	44.4	▲ 33.3	21.4	57.1	21.4	0.0
売上	▲ 64.3	7.1	57.1	35.7	▲ 28.6	42.9	42.9	14.3	28.6
収益	▲ 64.3	14.3	42.9	42.9	▲ 28.6	42.9	42.9	14.3	28.6

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期比4.7ポイント下落し、マイナス33.3となった。来期(2016年10月～12月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス28.6、来期見通しはプラス28.6となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス28.6、来期見通しはプラス28.6となっている。
- 勝間田高校が平成27年度から「自動車工学」のコースを新設したので、同コースで学んだ学生には、地元での就職を期待しているとの声が複数聞かれた。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	18.2	18.2	81.8	0.0	18.2	9.1	63.6	27.3	▲18.2
売上	▲27.2	18.2	63.6	18.2	0.0	18.2	45.5	36.4	▲18.2
収益	▲27.2	27.3	54.5	18.2	9.1	9.1	54.5	36.4	▲27.3

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期と変わらずプラス18.2となった。来期(2016年10月～12月)見通しはマイナス18.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはマイナス18.2となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス9.1、来期見通しはマイナス27.3となっている。
- 不動産売買や商談での不動産取引額が小口化している。賃貸契約者である所有者が高齢化しており、本人の意思確認時の問題を先送りできなくなっているとの声が聞かれた。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	0.0	15.4	59.0	25.6	▲10.2	41.0	46.2	12.8	28.2
売上	2.6	15.4	41.0	43.6	▲28.2	53.8	41.0	5.1	48.7
収益	2.6	17.9	35.9	46.2	▲28.3	53.8	41.0	5.1	48.7

- サービス業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期比10.2ポイント下落し、マイナス10.2となった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス28.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス28.2、来期見通しはプラス48.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス28.3、来期見通しはプラス48.7となっている。
- 運送業者からは、上期はトラック帰り便の積載率が少ない状況にあったが、今は回復基調にあるとの声が複数あった。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	15.4	11.1	77.8	11.1	0.0	30.8	61.5	7.7	23.1
売上	▲7.7	23.1	53.8	23.1	0.0	46.2	53.8	0.0	46.2
収益	▲7.7	23.1	53.8	23.1	0.0	46.2	53.8	0.0	46.2

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2016年7月～9月)は前期比15.4ポイント下落し、ゼロとなった。来期(2016年10月～12月)見通しはプラス23.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはプラス46.2となっている。
- 収益判断DIは、今期はゼロ、来期見通しもプラス46.2となっている。
- 病院では、今期は例年病床の稼働率が低下する時期であるが、今年は病床の稼働率が上昇しているとの声が複数あった。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	31.1	39.2	29.7	1.4
建設業	30.2	44.2	25.6	4.6
卸売業	34.5	13.8	51.7	▲ 17.2
小売業	24.5	36.7	38.8	▲ 14.3
不動産業	36.4	63.6	0.0	36.4
サービス業	25.6	38.5	35.9	▲ 10.3
総計	29.4	37.6	33.1	▲ 3.7

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	24.3	44.6	31.1	▲ 6.8
建設業	25.6	44.2	30.2	▲ 4.6
卸売業	20.7	31.0	48.3	▲ 27.6
小売業	22.4	44.9	32.7	▲ 10.3
不動産業	36.4	63.6	0.0	36.4
サービス業	25.6	38.5	35.9	▲ 10.3
総計	24.5	42.9	32.7	▲ 8.2

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	0.0	93.1	6.9	▲ 6.9
小売業	10.2	71.4	18.4	▲ 8.2
総計	6.4	79.5	14.1	▲ 7.7

- ①昨年同期(2016年7月～9月)比較売上高DIは、全業種ではマイナス3.7となった。
 ②昨年同期比較収益DIは、不動産業を除く業種でマイナスとなり、全業種ではマイナス8.2となった。
 ③昨年同期比較販売価格DIは、卸売業マイナス6.9、小売業マイナス8.2となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	▲ 2.7	5.4	85.1	9.5	▲ 4.1	4.1	93.2	2.7	1.4
建設業	▲ 6.8	11.6	83.7	4.7	6.9	4.7	90.7	4.7	0.0
卸売業	▲ 14.8	3.4	93.1	3.4	0.0	6.9	93.1	0.0	6.9
小売業	12.3	8.2	77.6	14.3	▲ 6.1	6.1	83.7	10.2	▲ 4.1
不動産業	▲ 18.2	0.0	81.8	18.2	▲ 18.2	0.0	63.6	36.4	▲ 36.4
サービス業	▲ 2.6	5.1	89.7	5.1	0.0	2.6	94.9	2.6	0.0
総計	▲ 2.5	6.5	84.9	8.6	▲ 2.1	4.5	89.8	5.7	▲ 1.2

●販売価格DIは、全業種では6期連続のマイナスとなり、マイナス2.1となった。来期見通しは、全業種でマイナス1.2と引き続きマイナスの見通しとなっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	2.7	9.5	85.1	5.4	4.1	12.2	81.1	6.8	5.4
建設業	9.1	7.0	90.7	2.3	4.7	0.0	95.3	4.7	▲ 4.7
卸売業	0.0	13.8	82.8	3.4	10.4	6.9	93.1	0.0	6.9
小売業	14.2	12.2	77.6	10.2	2.0	8.2	81.6	10.2	▲ 2.0
不動産業	▲ 45.5	0.0	72.7	27.3	▲ 27.3	0.0	72.7	27.3	▲ 27.3
サービス業	12.8	7.7	87.2	5.1	2.6	2.6	92.3	5.1	▲ 2.5
総計	5.4	9.4	84.1	6.5	2.9	6.5	86.5	6.9	▲ 0.4

- 仕入価格DIは、今期不動産業は前期に続きマイナスとなったが、全業種ではプラス2.9となった。来期見通しは、全業種でマイナス0.4となっている。
 ●不動産業では、調査開始以降、仕入価格DIが一度もプラスに転じたことがなく、来期もマイナスの見通しとなっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	9.4	13.5	74.3	12.2	1.3	9.5	82.4	8.1	1.4
建設業	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	2.3	97.7	0.0	2.3
卸売業	0.0	3.4	89.7	6.9	▲ 3.5	0.0	96.6	3.4	▲ 3.4
小売業	14.2	8.2	79.6	12.2	▲ 4.0	6.1	85.7	8.2	▲ 2.1
不動産業	▲ 18.2	0.0	72.7	27.3	▲ 27.3	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2
総計	5.8	7.3	83.0	9.7	▲ 2.4	5.8	87.4	6.8	▲ 1.0

●在庫DIは、今期は全業種で8割超が適正と回答し、全業種でマイナス2.4となった。来期見通しも、全業種で8割超が適正と回答し、全業種でマイナス1.0となっている。

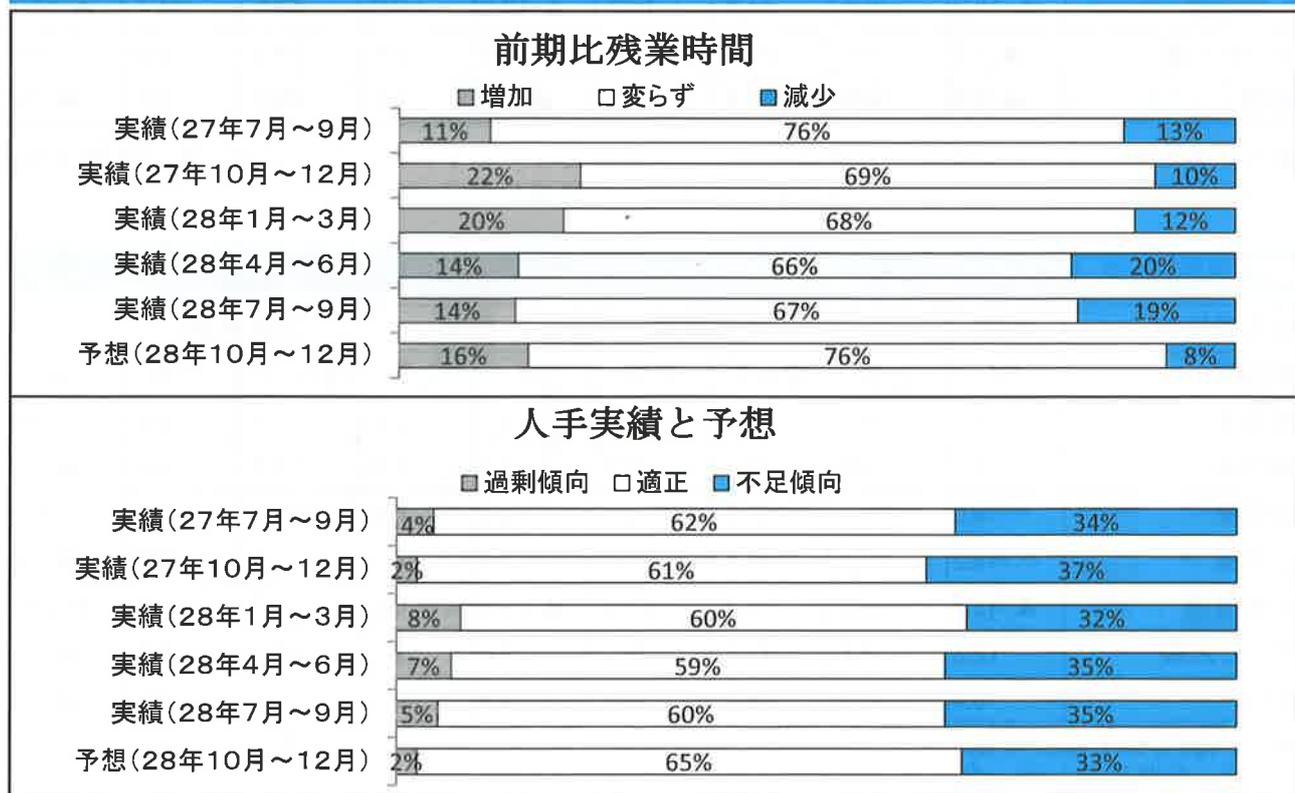
■受注残■

受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず
製造業	6.7	28.4	54.1	17.6	10.8	43.2	50.0	6.8	36.4
建設業	▲ 27.2	34.9	44.2	20.9	14.0	37.2	48.8	14.0	23.2
総計	▲ 5.9	30.8	50.4	18.8	12.0	41.0	49.6	9.4	31.6

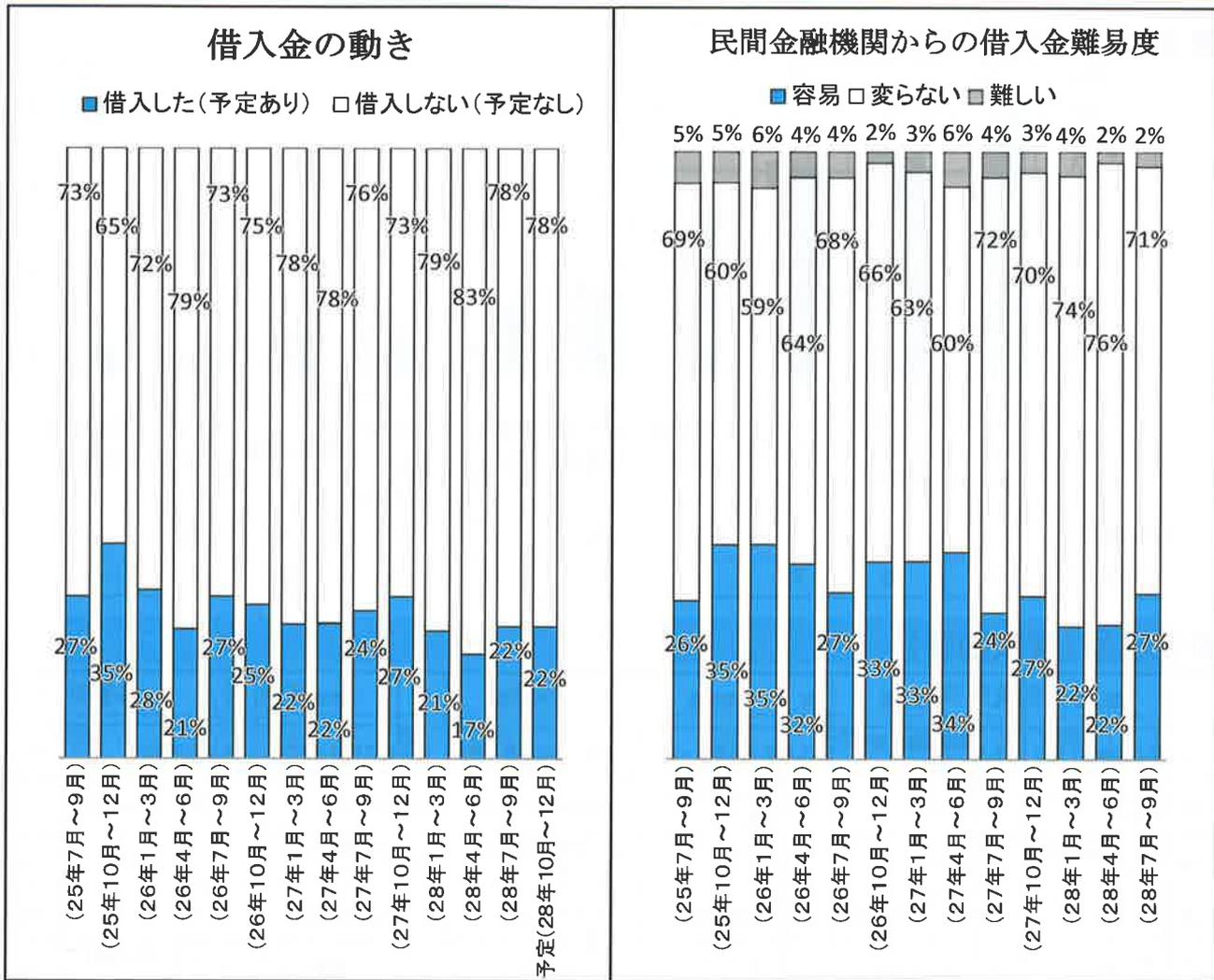
●製造業の受注残DIは、今期は前期比4.1ポイント上昇しプラス10.8となり、来期見通しはプラス36.4となっている。

●建設業の受注残DIは、今期は前期比41.2ポイントと大幅に改善しプラス14.0となった。来期見通しはプラス23.2となっている。

■雇用面の動き■



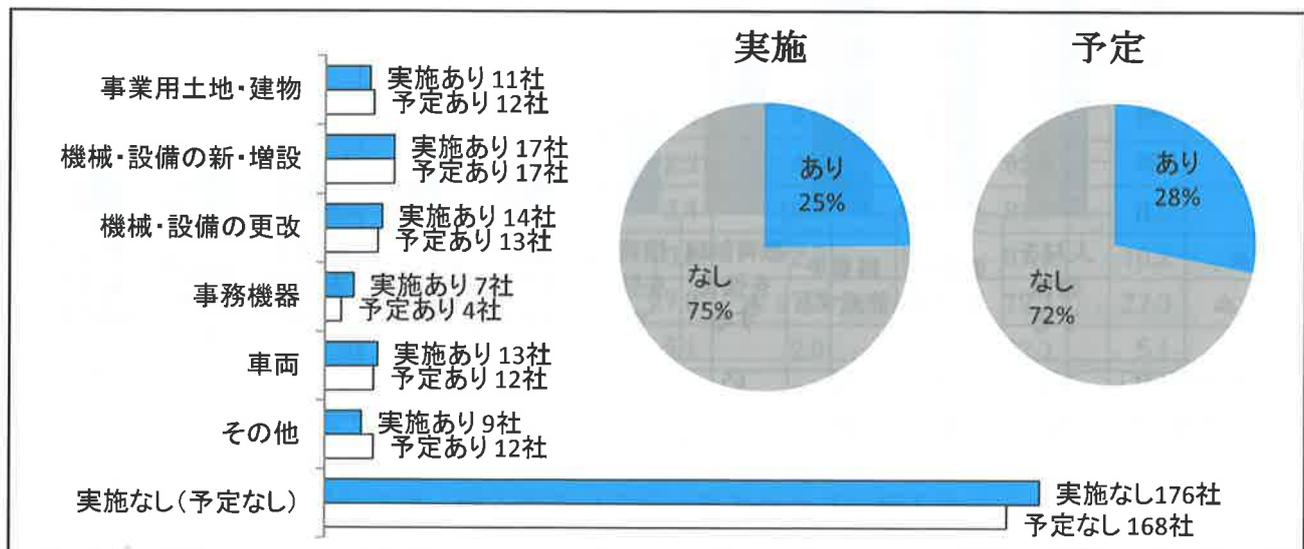
借入金の動き・難易度



● 2016年1月にマイナス金利政策が導入されたが、借入をした企業の割合は、今期(28年7月～9月)22%と依然として低い水準となっている。また、借入の難易度は、『容易』と回答した企業の割合が前期比5%上昇し、27%となり、『難しい』は2%となっている。

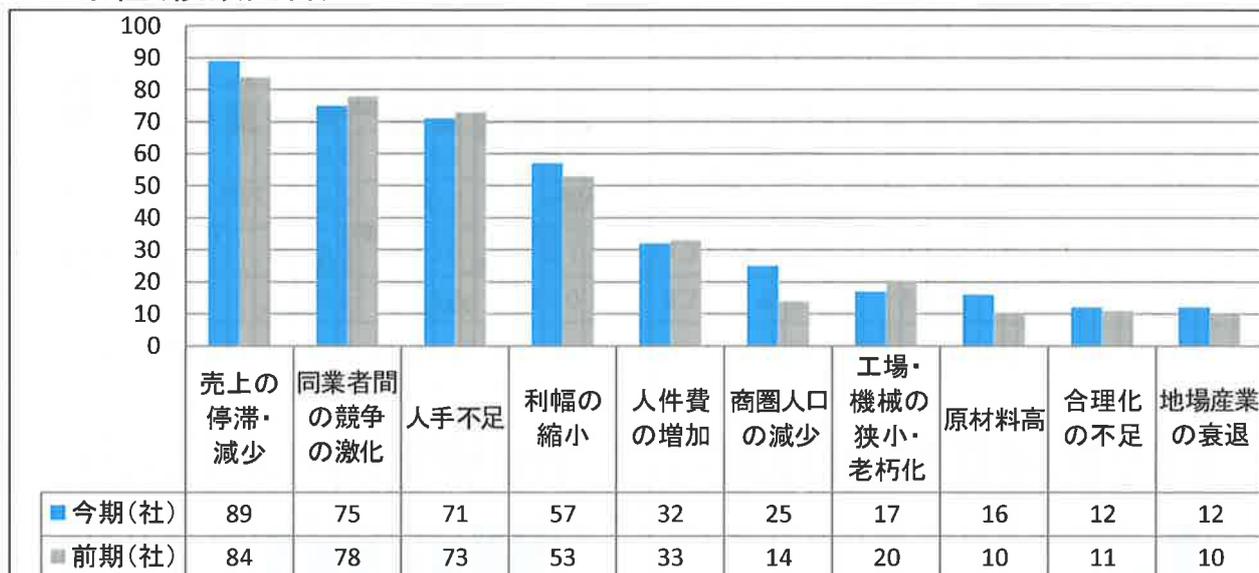
設備投資の実施(28年7月～9月)と予定(28年10月～12月)

● 全業種(除く不動産業:有効回答計234社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種(複数回答)

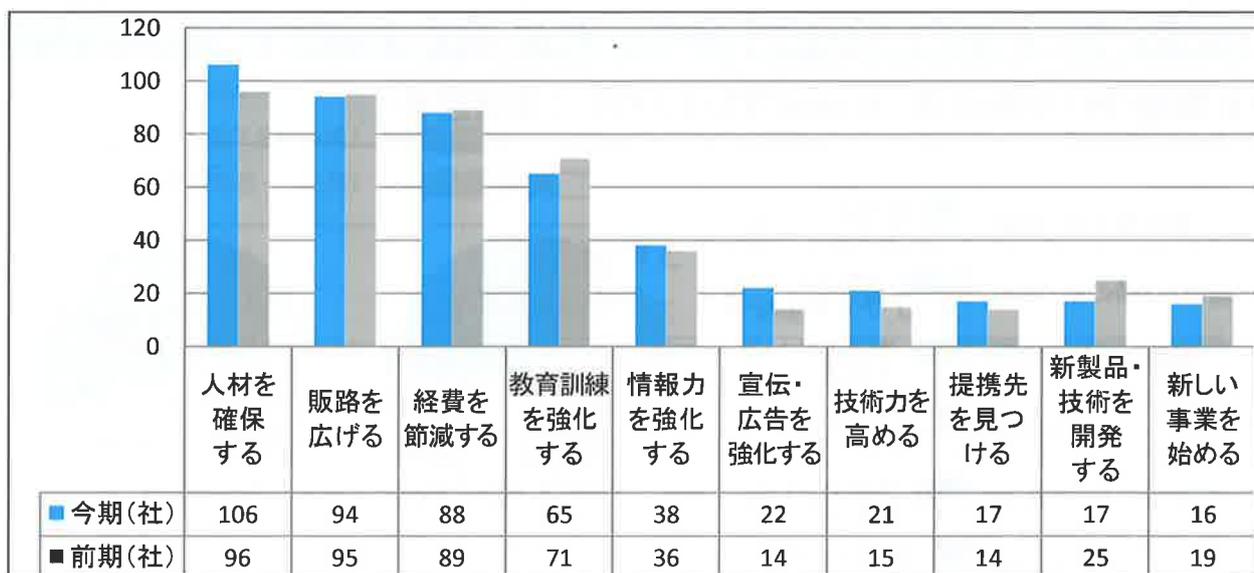


● 業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	売上の停滞・減少	13.3	同業者間の競争の激化	18.4	売上の停滞・減少	24.6	売上の停滞・減少	17.2	商品物件の不足	26.3	人手不足	19.5
2位	同業者間の競争の激化	10.9	人手不足	16.1	同業者間の競争の激化	18.8	商圏人口の減少	16.4	利幅の縮小	15.8	売上の停滞・減少	16.1
3位	工場・機械の狭小・老朽化	10.3	利幅の縮小	16.1	利幅の縮小	11.6	同業者間の競争の激化	15.6	同業者間の競争の激化	15.8	人件費の増加	11.5
4位	人手不足	9.7	売上の停滞・減少	14.9	取引先の減少	8.7	人手不足	13.9	人件費の増加	10.5	利幅の縮小	10.3
5位	原材料高	9.7	下請の確保難	6.9	人手不足	7.2	利幅の縮小	8.2	売上の停滞・減少	10.5	同業者間の競争の激化	6.9

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	21.5	人材を確保する	23.2	販路を広げる	26.5	人材を確保する	15.4	宣伝・広告を強化する	26.9	人材を確保する	24.0
2位	人材を確保する	14.7	技術力を高める	18.8	経費を節減する	14.7	教育訓練を強化する	15.4	情報力を強化する	23.1	教育訓練を強化する	16.0
3位	経費を節減する	14.1	販路を広げる	17.0	情報力を強化する	11.8	経費を節減する	13.8	販路を広げる	11.5	経費を節減する	14.0
4位	新製品・技術を開発する	8.9	経費を節減する	16.1	人材を確保する	10.3	品揃えを改善する	10.6	不動産の有効活用を図る	11.5	販路を広げる	13.0
5位	教育訓練を強化する	8.9	教育訓練を強化する	8.9	品揃えを充実する	8.8	店舗・設備を改装する	9.8	新しい事業を始める	7.7	技術力を強化する	10.0

■調査員の調査コメントから■

○7～9月期の業況判断D Iは、建設業で改善が見られ、不動産業は横ばいとなったが、その他4業種で前期に比べ悪化し、前回見通しマイナス2.1を下回り過去最低水準となるマイナス7.4となった。2期連続のマイナスD Iは、調査開始時の2012年4月～9月以来となった。来期は、季節的な要因からプラス17.2と大幅に改善する見通しとなっている。

○これまでの作州地域の景況感は、製造業と建設業の景況感の影響が大きい傾向があり、製造業は2015年より、建設業は2016年4月～6月期よりプラスD Iの数値が大幅に低下している。要因として、円高、中国経済の減速、公共工事の減少、消費増税の駆け込み受注工事の完了等々の声が聞かれた。

○今回の調査では、地域創生に向けた新たな取組みの声が複数聞かれた。

- ・小売業者は、地域内企業から仕入れる商品の割合を増加させたい。
- ・地域ブランド牛がブームとなり、全国的に価格が高騰している。
- ・製造業者は、修繕や消耗品の調達で地域内企業への発注を増やしたい。
- ・製造業者や卸売業者は、地域材を利用して家具等の商品開発を行なっている。
- ・製造業者は、大企業から地域ブランドの採用の申し出があり、一定の受注が期待できる。

○製造業者や住宅建築業者は、従来、廃棄していた物をネット販売して有価物に換えている、あるいは換える計画があるとの声が複数あった。

○建設業界では、コンプライアンス遵守の動きがあり、大手企業は社会保険に未加入の企業への発注を控えており、従来より社会保険に加入していた業者に受注が集中している。また、住宅建設では、消費増税の延期とマイナス金利の影響で受注が増加し、数年の効果が期待できるとの声が複数あった。

○つやま産業支援センターや商工会議所・商工会等からの提案が企業経営者のマインドを明るくしている。

- ・異業種交流会に出席した企業からは、他業種とのコミュニケーションができ、新商品開発や販路開拓等で新たな活路が開けた。
- ・商工会議所・商工会からの提案で、考えていた施策が補助金対象となるので応募したい。

■調査要領■

■調査対象■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2016年8月22日～9月7日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

D Iを中心に分析

5. 季節変動について

業況判断D Iは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動(季節変動)がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整(季節調整)は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。

また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

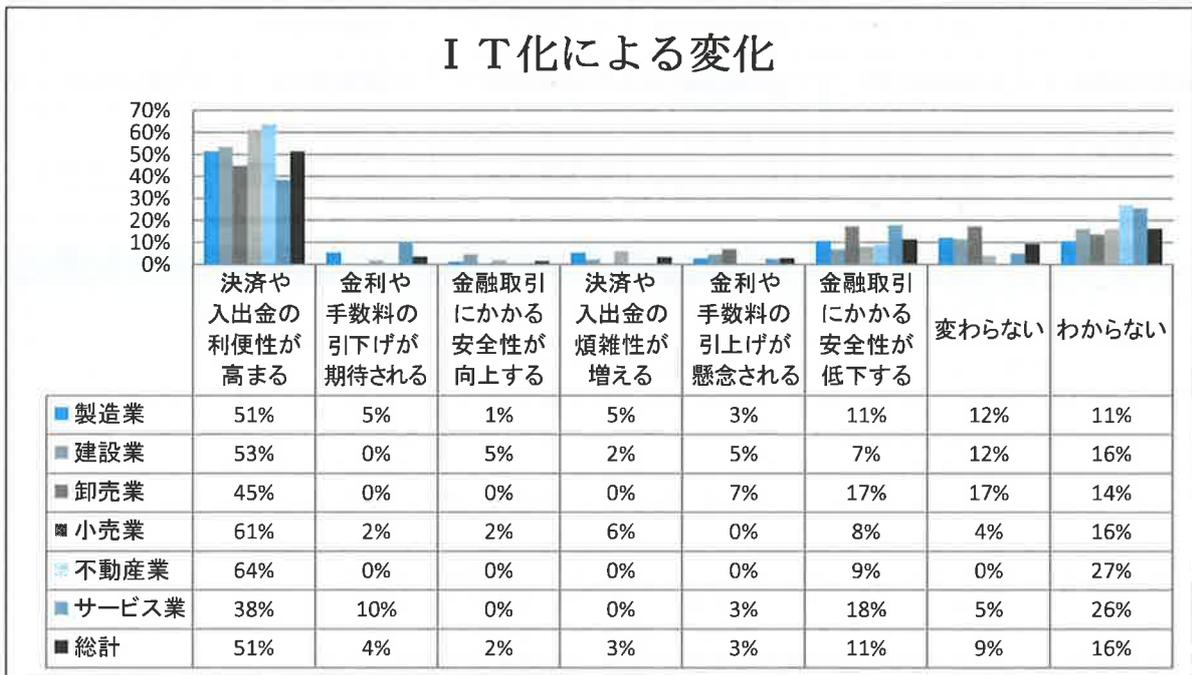
地区別	企業数	比率
津山鏡野地域	153	62.4%
真庭地域	49	20.0%
美作勝央地域	43	17.6%
総計	245	100.0%

業種別	企業数	比率
製造業	74	30.2%
建設業	43	17.6%
卸売業	29	11.8%
小売業	49	20.0%
不動産業	11	4.5%
サービス業	39	15.9%
総計	245	100.0%

従業員規模別	企業数	比率
1～4人	41	16.7%
5～9人	65	26.5%
10～19人	54	22.0%
20～29人	34	13.9%
30～39人	11	4.5%
40～49人	15	6.1%
50～99人	9	3.7%
100～199人	12	4.9%
200～300人	3	1.2%
301人以上	1	0.4%
総計	245	100.0%

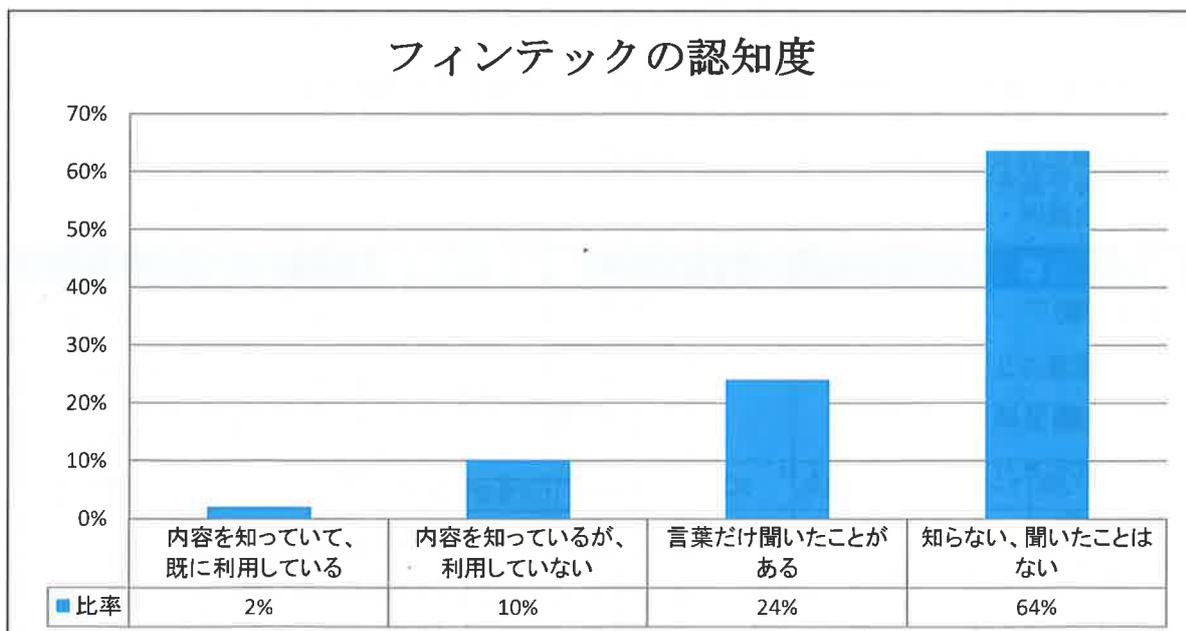
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆
特別調査「金融サービスにおけるIT活用と中小企業」

問1. 貴社では、現状の金融機関取引がIT化していくことで、どのような変化が起これと考えていますか。



●金融機関取引がIT化していくことで起こる変化として、「決済や入出金の利便性が高まる」が51%と最も多く、次いで「わからない」が16%、「安全性が低下する」が11%となっている。

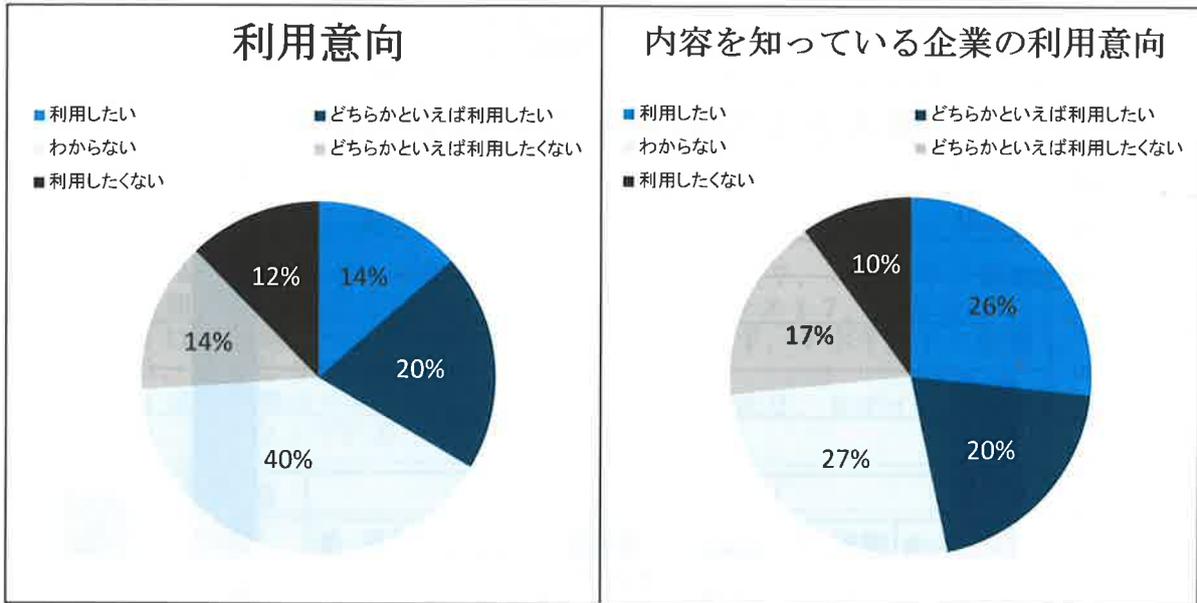
問2. 最近、IT化の進展にともない、ITを活用した金融サービスを提供する金融機関が出始めていますが、貴社では、「金融とITの融合（フィンテック）」をご存知でしたか。また、こうしたITを活用した金融サービスを貴社の事業上で利用したいとお考えですか。



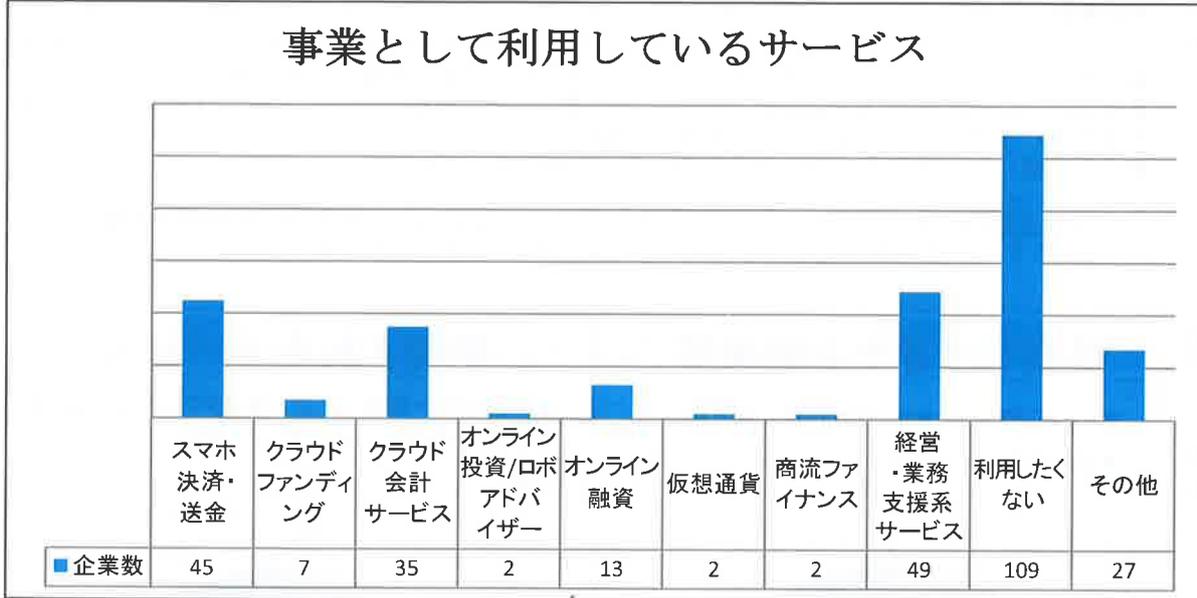
●フィンテックの認知度は、「知らない、聞いたことはない」が64%、「言葉だけ聞いたことがある」が24%で、「内容を知っている」は、12%となった。

●利用意向は、「利用したい」が34%、「利用したくない」26%となった。現時点では必要性を感じていないとの声が多数聞かれた。

●また、フィンテックの内容を知っている企業の利用意向は、「利用したい」が46%、「利用したくない」27%となった。開発されれば、利用せざるを得なくなるだろうとの声もあった。



問3. 貴社が組織（事業）としてITを活用した金融サービスを利用している（あるいは利用したいと考えている）サービスはございますか。（複数回答）



- 「利用したくない」が最も多くなっている。安全面で不安があるとの声が多くあった。
- 利用しているサービスとしては、「経営・業務支援系サービス」が最も多く、次いで「スマホ決済・送金」、「クラウド会計サービス」と続いた。
- 「その他」の回答の多くは、「インターネットバンキング」であった。

【用語説明】

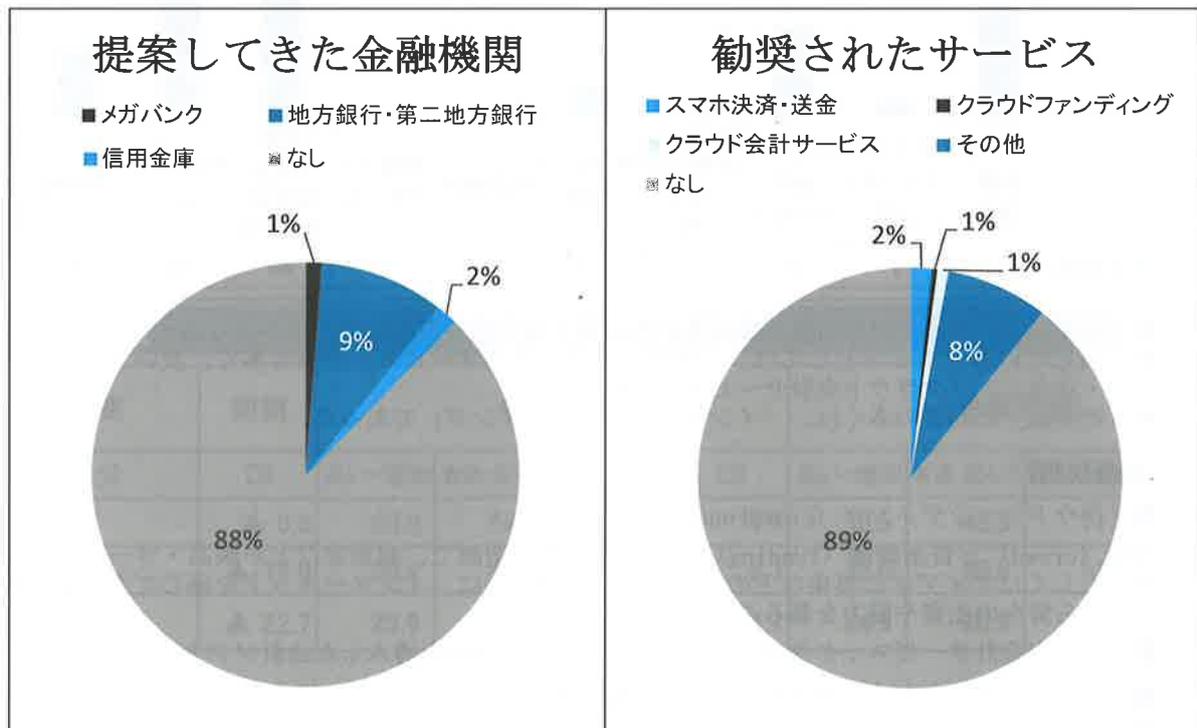
- クラウドファンディング（CrowdFunding）：
群衆（crowd）と資金調達（funding）を組み合わせた造語で、起業家などが製品・サービスの開発、もしくはアイデアの実現などの「ある目的」のために、インターネットを通じて不特定多数の人から資金の出資や協力を募ること
- クラウド会計サービス：クラウドコンピューティング技術を導入した会計ソフト
- ロボアドバイザー：人工知能を活用した資産管理サービス
- 仮想通貨：法定通貨に対して特定の国家による価値の保証を持たない通貨（ビットコイン（Bitcoin）など）
- 商流ファイナンス：
企業内もしくは企業間の商流に基づき、企業活動に必要な資金を供給（調達）する手法（例：売掛金を活用したファイナンス（ファクタリング等））
- 経営・業務支援系サービス：クラウドを利用したサービス（例：経理データの入力を代行するサービス等（企業が提供））

問4. 社長ならびに家族が個人としてITを活用した金融サービスを利用している（あるいは利用したいと考えている）サービスはございますか。（複数回答）



- 「利用したくない」が最も多くなっている。安全面で不安があるとの声が多くあった。
- 利用しているサービスとしては、「スマホ決済・送金」が最も多く、次いで「オンライン投資/ロボアドバイザー」、「家計簿サービス」と続いた。
- 「その他」の回答の多くは、「インターネットバンキング」であった。

問5. 取引金融機関から貴社に対して、事業上でITを活用した金融サービスの利用を勧奨されたことがありますか。特に強く提案してきた取引金融機関および特に強く勧奨されたサービスをお答え下さい。



- 事業上でITを活用した金融サービスの利用を提案した金融機関の割合は12%となった。
- 取引金融機関および特に強く勧奨されたサービスは、「その他」で「インターネットバンキング」との回答が多くなっている。
- このようなITを活用した金融サービスを提供しなくても、「Face to Face」でコミュニケーションを取りたいとの回答が多くあった。

(参考) 作州地域の人口と世帯数の推移

(※平成25年度以降、調査時点が1月1日時点に変更)

●住民基本台帳による人口の推移

人口	26年	27年	前年比増減	増減率	28年	前年比増減	増減率
津山市	105,557	104,717	▲ 840	▲ 0.8%	103,954	▲ 763	▲ 0.7%
真庭市	49,222	48,544	▲ 678	▲ 1.4%	47,820	▲ 724	▲ 1.5%
美作市	30,362	29,813	▲ 549	▲ 1.8%	29,214	▲ 599	▲ 2.0%
新庄村	993	975	▲ 18	▲ 1.8%	961	▲ 14	▲ 1.4%
鏡野町	13,908	13,773	▲ 135	▲ 1.0%	13,609	▲ 164	▲ 1.2%
勝央町	11,379	11,331	▲ 48	▲ 0.4%	11,305	▲ 26	▲ 0.2%
奈義町	6,217	6,258	41	0.7%	6,224	▲ 34	▲ 0.5%
西粟倉村	1,535	1,530	▲ 5	▲ 0.3%	1,519	▲ 11	▲ 0.7%
久米南町	5,259	5,186	▲ 73	▲ 1.4%	5,115	▲ 71	▲ 1.4%
美咲町	15,664	15,477	▲ 187	▲ 1.2%	15,209	▲ 268	▲ 1.7%
作州地域計	240,096	237,604	▲ 2,492	▲ 1.0%	234,930	▲ 2,674	▲ 1.1%
岡山県計	1,945,208	1,939,722	▲ 5,486	▲ 0.3%	1,933,781	▲ 5,941	▲ 0.3%
地域シェア	12.3%	12.2%	▲ 0.1%	▲ 0.8%	12.1%	▲ 0.1%	▲ 0.8%

- ・岡山県に占める作州地域の人口シェアは、1.2%台となっている。
- ・作州地域の人口減少は、毎年1%程度となっており、岡山県の0.3%を大幅に上回っている。
- ・作州地域の人口減少数は、岡山県の人口減少数の半分近くの人数となっている。
- ・作州地域の28年の減少率を上回っている自治体は、6市町村となっている。

●住民基本台帳による世帯数の推移

世帯数	26年	27年	前年比増減	増減率	28年	前年比増減	増減率
津山市	44,530	44,664	134	0.3%	44,829	165	0.4%
真庭市	17,893	17,864	▲ 29	▲ 0.2%	17,876	12	0.1%
美作市	12,599	12,697	98	0.8%	12,509	▲ 188	▲ 1.5%
新庄村	388	391	3	0.8%	389	▲ 2	▲ 0.5%
鏡野町	5,656	5,647	▲ 9	▲ 0.2%	5,687	40	0.7%
勝央町	4,386	4,429	43	1.0%	4,501	72	1.6%
奈義町	2,456	2,510	54	2.2%	2,564	54	2.2%
西粟倉村	561	570	9	1.6%	576	6	1.1%
久米南町	2,290	2,303	13	0.6%	2,286	▲ 17	▲ 0.7%
美咲町	6,379	6,393	14	0.2%	6,345	▲ 48	▲ 0.8%
作州地域計	97,138	97,468	330	0.3%	97,562	94	0.1%
岡山県計	817,223	823,543	6,320	0.8%	829,811	6,268	0.8%
地域シェア	11.9%	11.8%	▲ 0.1%	▲ 0.4%	11.8%	▲ 0.1%	▲ 0.7%

- ・岡山県に占める作州地域の世帯数シェアは、11.8%となっている。(27年、28年)
- ・作州地域の世帯数は、微増となっている。岡山県全体の世帯数では、約6,300世帯増加し、2年連続で0.8%の増加となっている。
- ・作州地域では、勝央町、奈義町、西粟倉村が2年連続で県平均増加率を上回っている。

●住民基本台帳による1世帯あたりの人数の推移(人口÷世帯数)

人数	26年	27年	前年比増減	増減率	28年	前年比増減	増減率
津山市	2.37	2.34	▲ 0.03	▲ 1.1%	2.32	▲ 0.03	▲ 1.1%
真庭市	2.75	2.72	▲ 0.03	▲ 1.2%	2.68	▲ 0.04	▲ 1.6%
美作市	2.41	2.35	▲ 0.06	▲ 2.6%	2.34	▲ 0.01	▲ 0.5%
新庄村	2.56	2.49	▲ 0.07	▲ 2.6%	2.47	▲ 0.02	▲ 0.9%
鏡野町	2.46	2.44	▲ 0.02	▲ 0.8%	2.39	▲ 0.05	▲ 1.9%
勝央町	2.59	2.56	▲ 0.04	▲ 1.4%	2.51	▲ 0.05	▲ 1.8%
奈義町	2.53	2.49	▲ 0.04	▲ 1.5%	2.43	▲ 0.07	▲ 2.6%
西粟倉村	2.74	2.68	▲ 0.05	▲ 1.9%	2.64	▲ 0.05	▲ 1.8%
久米南町	2.30	2.25	▲ 0.04	▲ 1.9%	2.24	▲ 0.01	▲ 0.6%
美咲町	2.46	2.42	▲ 0.03	▲ 1.4%	2.40	▲ 0.02	▲ 1.0%
作州地域計	2.47	2.44	▲ 0.03	▲ 1.4%	2.41	▲ 0.03	▲ 1.2%
岡山県計	2.38	2.36	▲ 0.02	▲ 1.0%	2.33	▲ 0.02	▲ 1.1%

- ・1世帯あたりの人数は、岡山県全体で2.3人、作州地域では2.4人となっている。
 - ・作州地域では、津山市と久米南町を除く8市町村が、県平均人数を上回っている(28年)。
- ※住民基本台帳は、市町村への届出を基に、各市町村が個々に管理する登録ベースのものです。

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

津山信用金庫



岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
地域創生部
(担当：杉山、岡部)